



2020
健康経営優良法人
Health and productivity

認定証

(中小規模法人部門)

法人名 **中京陸運株式会社**

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人 2020 (中小規模法人部門)」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2020年3月2日

日本健康会議



健康宣言実施結果報告書



事業所名

中京陸運 株式会社

健康づくり
担当者名

総推進担当者
総務課長 鷲見 正憲

項目		実施項目 にチェック	取組内容・実施結果(数値報告)
必須項目	① 経営者自身が健康宣言事業に取り組む	✓	社長自ら健康宣言を実施し、社内外への発信(HP等)も実施
	② 組織体制の整備	✓	社長が総務課長を総推進担当者に、各事業場の長を推進担当者に指名
	③ 受動喫煙対策の実施	✓	2事業場(喫煙室の設置)以外は敷地内禁煙又は屋内全面禁煙とした
選択項目	① 社員の家族の健康にも積極的に取り組みます	✓	会社から健診受診の通知を配布するが、受診率は伸び悩み
	② 定期健康診断の受診	✓	業務都合での未受診管理を徹底し、別日受診で受診率を実質100%に
	③ 受診勧奨の取り組み		
	④ ストレスチェックの実施	✓	受検率約85%、健康リスクは依然と高い(全国比119)の認識を全社共有
	⑤ 健康増進・過重労働防止に向けた具体的な目標(計画)		
	⑥ 管理職または一般社員に対する教育機会の設定	✓	管理職が研修を受け、全管理職にメール配信・周知し、業務に活用
	⑦ 適切な働き方の実現		
	⑧ コミュニケーションの促進		
	⑨ 病気と治療と仕事の両立		
	⑩ 保健指導の実施	✓	該当者へ定期健診と同時に保健指導を実施、積極的支援等の人のサポート
	⑪ 食生活の改善		
	⑫ 運動機会の促進		
	⑬ 女性の健康保持・増進	✓	妊娠中の従業員に対する業務上の配慮(就業規則)の従業員への周知
	⑭ 社員の感染症予防		
	⑮ 過重労働への対応	✓	超過勤務時間80時間超の管理徹底と労働者へ上長面談の実施
	⑯ メンタル不調者への対応	✓	相談窓口の設置と従業員への周知、面接指導体制の整備

取り組み内容「PRシート」

事業所名

中京陸運 株式会社

貴社の重点実施項目の中から「アピールしたい取組」があれば、
下記の欄にご記入ください。写真・イラスト等を載せていただいても結構です！

選択項目番号

4

ストレスチェックの実施

取組
背景
目標

50人以上と50人未満の事業所と別け隔てなく、
全社としてストレスチェックの実施をして、当社の各部署・全社の傾向と
全国平均と比較して、改善すべきものへ取り組み、職場環境の改善
(働きやすい職場にする)を目標にしています。

取組の
具体的
内容

- ①、2月末現在の常時使用する労働者に『受検のお願い』と『ストレスチェック用紙』を配布。
- ②、回収後未開封状態で産業医経由委託業者にてデータ整理分析。
- ③、結果を各労働者には封印した状態で渡し、
会社には全体分析図のみ報告。
- ④、結果が高ストレスの場合に、総務部実務担当者経由産業医との面談。
- ⑤、業務上必要な事項・措置のみ担当者へ報告。

取組
の
結果

健康リスク(全国平均100)として、
全社では119、部署別では愛知県内の大規模事業所が121以上、
年齢別では50代が127と高い。
高ストレス者は、全社で約15%いるものの、産業医面談ゼロ。

今後
の
施策

受検率約85%、高ストレス者の産業医面談ゼロ、の結果から、
労働者が会社に気兼ねなく受検・面談できる環境を作るための
問題点の調査と、部店長に現状のさらなる理解を務める。

選択項目番号

10

保健指導の実施

取組
背景
目標

保健指導は定期健診の受診先から二次検診として呼ばれる人を
対象に実施。当社も平均年齢が46歳と高齢化になっており、
2018年6月より、さらに特定保健指導を実施することにしました。

取組の
具体的
内容

定期健診の受診先と提携して、受診当日に受信結果から
該当者には定期検診後すぐに特定保健指導を実施(平日受診に限定)、
定期健診の土曜受診者は後日の平日に特定保健指導を実施して、
積極的支援、動機づけ支援、情報提供で生活習慣を見直す
サポートをしています。

取組
の
結果

情報提供のみ0人、動機付け支援23人、積極的支援40人、の人が、
未病で終わらせる可能性を持つことができました。

今後
の
施策

今回の特定保健指導者を平日定期健診へ移行を促して、
定期健診と特定保健指導を同日実施、40歳未満の特定保健指導の
可能性のある人への啓蒙を進める。